



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

ロータリーは
機会の扉を開く

令和2年12月7日(月) 第17回 通算第1581回例会

会長 黒澤 信之
幹事 佐藤 慶行

クラブ奉仕委員会
委員長

高橋 智弘

会報・雑誌・広報・
IT小委員会委員長

根本 いずみ

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第17回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 黒澤 信之 会長
- ◇国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」
- ソングリーダー 佐藤 卓立 会員
- ◇「四つのテスト」唱和
- 職業奉仕委員会 高梨 哲男 委員長
- ◇お客様並びにビジター紹介
- 福島ロータリークラブ所属 箱岩 偉様



12月誕生祝い

- ・小野 俊憲 会員 昭和35年12月24日生
- ・高橋 智弘 会員 昭和40年12月27日生
- ・黒澤 信之 会員 昭和45年12月22日生



- ◇年次総会
 - 会計報告(前年度決算報告・今年度中間報告)
- クラブ細則第5条第1節に則り、只今より年次総会を開催致します。本日例会定足数(会員総数の3分の1)を満たしておりますので、次年度(2020-21年度)の役員理事候補者の選挙を行います。

幹事は候補者名記入用紙をテーブルに配布

- *候補者名を会長が読み上げ、選挙は拍手を求める
 - *選挙後、次年度会長 高橋智弘会員より挨拶を頂戴する
 - 会長あいさつ 黒澤 信之 会長
- まずは、今ほどの年次総会におきまして、高橋智弘次年度会長年度の理事役員選考につきまして、満場の承認をいただきましたことに感謝申し上げます。
- 高橋会長エレクトも胸をなでおろすとともに次年度に向けた決意を新たにされたことと思います。会員の皆様からは絶大なるご協力をいただきますよう私からもお願いをいたします。

一方、わたくしがお預かりしております今年度もまだ半分しか終わっておりません。残りの下半期も益々皆様とともに会を盛り上げてゆく所存ですのでご指導ご鞭撻のほど重ねてお願いいたします。と申し上げるところですが、先週大変ショッキングなニュースがありました。

福島市内のスナックで発生した例のクラスター感染でございます。親睦を最重要事項の一つとして活動する当クラブにとっては正に大問題であります。年末年始にかけてはロータリー事業としても各種会合を計画して居るところですが、開催については慎重に検討、判断をしてみたいと思っておりますので、皆様からは忌憚ないご意見をお寄せいただければ幸いです。

さて、前回、通常例会としてこの場に参集いただきましたのは、四週間前。約一カ月のご無沙汰でございました。この間に開催されました行事について、少々振り返りとご報告をさせていただきます。

- ◆11月14日、インターシティミーティングがここウェディ

ングエルティさんで開催されました。パネルディスカッションでは高橋智弘会員が登壇され堂々と意見する姿に心打たれました。智弘会員、お疲れ様でした。

- ◆11月16日には、齋藤武二会員のお計らいで恒例の新そばを食する会を開催いたしました。香りたつ新そばを手繰りながら楽しい時間を過ごさせていただきました。武二会員にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

- ◆11月20日、市教育委員会を訪問し、野球用品の寄贈をしてまいりました。新聞記事にもありましたが、教育長からは多大なる謝意を表明いただき感謝状を拝受いたしましたのでご報告いたします。新聞掲載になりました、こちらの写真。本日メーカッパにいただいている福島クラブの箱岩偉会員が送ってくださったものです。ありがたうございました。各方面から実物よりいいとか加工したのかとかメッセージをいただきましたが、我ながらベストショットだったな〜と感じたのは余談であります。

- ◆11月21日には、郡山において地区大会の会長幹事会が開催され慶行幹事もども出席してまいりました。前日に郡山でクラスターが発生した経緯があり、急遽予定されていた懇親会が中止になるという緊急事態でしたが、会議自体もこれまでとは違う、RIの正式な審議方法に沿った形で行われ、報告事項に対して認否の投票を行うというようなことを経験してまいりました。

- ◆そして先週末、12月5日には県北地区合同の新入会員セミナーが開催され、梅津、宮崎両会員ともどもパストガバナーの貴重な講話を拝聴してまいりました。宮崎会員が、クラブを代表し、立派に抱負を述べる姿を頼もしく拝見いたしました。また、佐藤宗弘会員が、次年度ガバナー補佐予定者としてスピーチをされ、限られた時間の中、思いのたけをわかりやすく述べられていたお姿にもクラブ会員として誇らしさを感じたところでありました。予定されていた懇親会は、コロナの問題で中止となったのは残念ですが、苦渋の、そして賢明な判断だったのだろうと思います。

折しも12月は、ロータリーの疾病予防と治療月間に充てられています。年末年始は、人の移動や接触も多くなりやすし、インフルエンザをはじめとするウイルス感染の危険も増えてまいりますので、感染予防に十分お気を付けくださいますようお願いいたします。後ほど、半期を振り返ってということでスピーチをさせていただきます。拙いスピーチになるとは存じますが、どうぞご傾聴くださいますようお願い申し上げます。会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

- ◇幹事報告 佐藤 慶行 幹事

- 例会変更のお知らせ

・例会変更はございません。

- その他のお知らせ

・12/11(金)午後6時より県北第一分区分会会長幹事会が開催されます。黒澤会長、佐藤幹事が出席されます。

・12/12(土)RLI(ロータリーリーダーシップ研修会)パート3がZoomにより開催されます。当クラブより佐藤宗弘会員が参加いたします。

・12月ロータリーレートは1ドル105円となりますのでお知らせ致します。

委員会報告

- ◇出席・スマイリングBOX小委員会 高橋 智弘 委員
- 黒澤信之会長=本日は年次総会を開催いたします。皆様には慎重審議をいただきます様宜しく願っております。

○福島RC箱岩 偉様=黒澤会長のスピーチを拝聴に参りました。楽しみにしています。

○宮崎秀剛会員=新会員セミナーに参加してきました。「まずは例会に出席すること」という事でしたので、これからはできる限り出席いたします。

○西形健吉会員=会長スピーチ、面白く聞かせて下さい。

○久米允彦会員=黒澤会長のスピーチを楽しみにしていました。

- 黒澤会長「半期を振り返って」スピーチによせて——
- 佐藤慶行幹事
 - 相澤 隆会員
 - 大平謹一郎会員
 - 齋藤武二会員
 - 佐藤卓立会員
 - 佐藤宗弘会員
 - 高梨哲男会員
 - 根本いずみ会員
 - 野尻榮一会員
 - 高橋智弘会員

**本日のスマイリングBOX集計15件 30,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございます。**

◇会報・雑誌・広報・IT・小委員会 根本いずみ委員長
*「ロータリーの友」12月号紹介
横組P3 RI会長メッセージ

ロータリーが今年、以前にも増して強固になったことを物語るストーリーを2人のロータリアンが紹介しています。(テキサス州 リーゼ・ラーソンさん)

活動自粛になった時、私たちの新しいEクラブはすでに国際奉仕を含む活動をオンラインで行っていました。さまざまなクラブに所属する女性ロータリアンと一緒に無料メッセージアプリを使って、コスタリカの農村に暮らす女性の起業家たちにメンタリングを実施し、事業の支援を行いました。(ナイジェリア プレッシング・マイケルさん)

新型コロナの流行が始まった時、私が所属するクラブの会員の多くがまだZoomを使っていませんでした。そこで私は世界中から卓話者を招き、クラブの会員に語ってもらうことを考えました。多くのロータリーリーダーやロータリー平和フェロー、さらにはホルガーRI会長までがオンラインで私たちの例会に訪れ、話をしてくれました。例会の出席率が高まる一方で、食事がなくなったため運営費が削減できました。例会に参加できなかった勤務地が遠方の会員たちも参加するようになり、世界中のクラブと交流が生まれました。今では対面とオンラインのハイブリッド型で例会を行っています。

こういった話を伺うと、今後のロータリーにますます期待が高まります。

P12 【特集】新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査結果

2回目は、「どうなる？クラブの今後」と題して、会員の増減、会員維持の工夫、クラブの懸念事項について紹介します。

アンケート結果の数字・グラフのほか、各クラブからのアンケートに対するコメントや全国のロータリアンに呼び掛けたいこと！は、それぞれの本音や前向きな意見が参考となり、とても読み応えがあります。内容は10ページに亘りますが、是非ご覧ください。

P22 指定記事「ロータリー国際大会「躍動する台北」

本稿では、現地のロータリアン、ローターアクト、ロータリーツアーガイドとして台湾の見どころを紹介し、色鮮やかな写真とともに「探検」と「食べる」をテーマにした内容です。

P54 「ロータリーの未来を築く」は、ロータリーの行動計画の策定経緯と四つの優先事項についての指定記事です。

内容は簡潔に2ページにまとめられています。詳しくはマイロータリーで検索もできますのでご参照ください。

P61 指定記事「台北国際大会」では、寺院や遺跡めぐりに

ついて、同じページの「ロータリー財団管理委員長からのメッセージ」は、クリスマスに因んだ話となっています。ご覧ください。

◇本日のプログラム——黒澤信之会長スピーチ

「半期を振り返って」 黒澤 信之会長
今日は、半期を振り返ってというテーマでスピーチの機会をいただきました。はじめに私なりのロータリーに対する思い入れやかかわりをご紹介しながらのスピーチとさせていただきます。

以前にお話しているような内容の繰り返しになる部分もあろうかと存じますが、寛容と友愛の精神でご容赦いただけますようお願いいたします。

さかのぼること40数年前、黒澤家では、祖父 幸吉が、福島南クラブのメンバーとして活動をさせていただいでおりました。

毎年のようにクリスマスパーティに参加させてもらい、赤いブーツに入ったお菓子をもって帰るのが楽しみだったおぼろげな記憶が残っています。

当時の私の住まいは、玄関を開けたらいきなり茶の間という、昭和の庶民の家を象徴するような作りでした。職業柄、感謝状やら賞状やらが茶の間の長押にずらりと並んでいましたが、そのど真ん中に、金縁の額に入った、四つのテストが掲げられていたのを覚えています。

文字を覚えたての頃でしたので、得意になって読み上げていたものでした。

ある時、うちにアメリカ人がやってきたことがあります。ホームステイと聞いていました。ロータリーは外人もやっているのかと感動しましたが、実際に会ってみると、香水の匂いが強烈だったのと、話しかけたときに、私はエイゴー、日

本語わかりませーん！といわれたのが子供ながらにショックで今でも心の傷として残っています。

その後、ご縁があって、父が当クラブの会員として活動させていただけにありがとうございました。

父が在籍させていただいている当時の私の印象は、ロータリーは野球チームなのか？という印象でした。

しょっちゅう甲子園だ！とか、言っていたよう思います。お土産と称して甲子園の砂をどっさり持ち帰っていたようですが、もらったほうはいい迷惑だったろうなと思います。

ちょうど、私が前職を退職し福島に戻ったころ、父が当クラブの会長を仰せつかったときは、自分のおやじなどが、この高貴な団体の長など務まるのか、本気で心配したものでしたが、当時の卓立幹事をはじめ、メンバー皆様のご協力により何とか全うさせていただいたのだらうと想像し、改めて西クラブの皆様の寛容と友愛の精神に感謝する次第です。その父が亡くなったのが平成21年の12月4日、ちょうど11年前になりました。

葬儀の際には、メンバーの皆様にお手伝いをいただき、当時の大会会長に弔辞も賜り、やはりロータリーは格式高い団体だな。このような方々とともに活動をさせてもらった父は幸せだったな。ありがたいな。と感謝の気持ちでいっぱいだったことを覚えています。

そして、父なき後は、自分が恩返ししたいと思うようになったころでした。

第二分区の某クラブからも熱心な勧誘をいただきましたが、自分は福島西クラブ以外は考えていませんときっぱりお断りしたことは今も後悔していません。今は亡き川崎先生や一朗さんをはじめ、久米さん、卓立さん、佐久間さん、小島さんと多くの方からの勧誘で八方ふさがりだったわけではありませんのでご安心ください。

かくして平成27年度より福島西クラブの一員として活動させていただきたく栄誉をいただきました。当時は30名以上の会員が在籍しており、まさか3年目で幹事、6年目で会長を仰せつかることになるとは夢にも思っていませんでしたが、ご存じの通りの現状ですので何とかしなければと思い立った次第であり、とにかく会員増強をしなければならぬとの一念で今年度の活動計画も立案いたしました。一時は、真剣にクラブの存続が憂慮させるようなこともありました。今もこうして活動ができているのはやはり皆さんの西クラブだからこそ思い入れがあるからだと確信しています。

拙文の一部を紹介いたします。クラブの内情は、積年のテーマである会員増強が未だその途上であることが一番の憂慮すべき課題であり何としても解決せねばなりません。一方で、単に人数が増えても欠席が多くては効果的増強とはいえません。私はこの一年、まずは長期欠席をなくし出席率を向上させることで会員力増強を図りたいと考えます。そのためには参加したくなる、楽しい例会運営をして参りたいと思いますので会員の皆様にはアイデアや情報をどしどしお寄せいただければ幸いです。そのうえで会員の底上げとなる会員数増強を図ってまいります。会員の皆様には一会員一推薦を是非ともお願いします。とあります。

会員力増強という点においては、どうだったでしょうか。長島会員に日常的にお目にかかることができるようになったのは、とてもうれしい変化です。座禅例会は小野会員と顔を合わせる機会ととり、新しい取り組みができたと思っています。夜間例会ともなれば達也先生にも気兼ねなく出てきてもらえるような雰囲気もできました。着実に会員力は増強されてきていると確信しています。

そのうえで、絶対数を増やすことにも全力で取り組んでいかなければなりません。寺島会員に、梅津会員に、そして宮崎会員に仲間として加わっていただいた西クラブを、さらに盛り上げ賑やかにしていくのは、メンバー全員の責務であります。にわか結果が出ることではないにしろ、常にそのことを念頭に、一人一人が会員増強委員であるとの認識に立ち、下期にあと二人を目標にしたいと思っています。私はその先頭に立って増強に取り組む覚悟でありますので皆様のご協力をお願い申し上げます。

とりとめのないお話となりましたが、残りの半期も会員の皆様のご指導ご鞭撻と絶大なご協力をお願い申し上げます。半期を振り返っての会長スピーチとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

◇閉会点鐘 黒澤 信之 会長
※会報カメラ担当 根本いずみ 委員



12/5(出) 北第一分区・第二分区合同 新会員オリエンテーションが開催され、宮崎秀剛会員がクラブを代表し登壇いたしました。また、佐藤宗弘次年度ガバナー補佐予定者による「Enjoy Rotary Life」と題したスピーチがあり、出席者は熱心に拝聴しておりました。